

ローカルベンチマークのススメ

◇ローカルベンチマークとは？

ローカルベンチマークとは、企業の経営状態の把握、「健康診断」を行うツールです。企業の経営者等と金融機関、支援機関等が、対話を通じて現状や課題を理解し、個々の企業の経営改善に向けた取組を促すことによって銀行融資の新たな「入口」になるきっかけになります！経済産業省のHPよりExcel形式でツールをダウンロードすることができます！

◇ローカルベンチマークは2段階に分けられたツール

【第1段階】地域の経済・産業の現状と見通しをシステムによって把握する

RESAS（地域経済分析システム）などで地域の産業構造や取引の流れ、雇用状況などを分析することで、個別の産業が地域経済に与える影響や重点的に取り組むべき産業を特定し、企業を取り巻く環境として地域の状況を把握します。

【第2段階】成長余力や持続性・生産性を分析によって把握する

(1) 財務情報分析…企業の過去の姿を分析する

- ①売上高増加率…売上持続性
- ②営業利益率…収益性
- ③労働生産性…生産性
- ④EBITDA有利子負債倍率…健全性
- ⑤営業運転資本回転期間…効率性
- ⑥自己資本比率…安全性

(2) 非財務情報…企業の現在の姿を評価する

- ①経営者への着目
- ②事業への着目
- ③関係者への着目
- ④内部管理への着目

ローカルベンチマークツール
(出典：経済産業省)



◇ローカルベンチマークと関連する支援政策

中小企業等経営強化法（平成28年7月1日施行）で活用が推奨されています。計画について国の承認を受けた事業者は、新規取得の機械装置について、固定資産税が3年間1/2に軽減される等の特典があります。

ご興味がある方はJSKまで！